

十四兆円、補正予算！津山市も速やかな対応を

公明党津山市議団 原 行則



質問 今回の補正で、経済危機対策交付金が津山市に八億一千万円交付されるがどのような事業をするのか。

答弁 スクールニューディール政策で小・中学校に情報通信技術化の為の地上

デジタル放送対応型テレビ、電子黒板機能付地上デジタル放送対応型テレビパソコン等を購入、また、地球温暖化対策のため十三年以上使用している公用車十五台をハイブリッド車等買い替える。

質問 「子宮頸がん・乳がん検診・無料クーポン券」の支給が実施されるが対象者とスケジュールは。

答弁 子宮頸がんが二十歳から五歳刻み四十歳まで、乳がんが四十歳から五歳刻み六十歳まで、できるだけ早く、クーポンを届けられるよう準備している。

質問 子育て応援特別手当三万六千円の支給は。

答弁 来年の一月下旬を目指している。

麦の産地化は？学校現場に人材の充実は？

みどりの会 竹内靖人



質問 津山産小麦の産地化に向けて本当に取り組もうとしているのか。農業振興に対する津山市の考え方は。

農林部長 小麦に対する新しい流れもあ

り、課題はあるが産地化に向け積極的に取り組みたい。集落営農組織や担い手への集積、多くの農業者が取り組みやすい交付金制度を確立し、組織や農業者を増やしたい。

質問 忙しいと聞く学校現場に人材を派遣し、多様な事務作業、地域との連携、給食費の未納対応など、支援のできる体制が必要ではないか。

教育長 子どもと向き合う時間の確保には、保護者への対応や関係機関との連絡調整のほか様々な支援が必要と考えている。教員の負担軽減のためにも適切な人材確保の方策について協議していきたい。

市民の意欲と安心への支援を！

市民と歩む会 黒見節子



質問 中心市街地活性化協議会の現状と今後は？

答弁 協議会は商工会議所等が設置。地域の意欲的な取り組みの意見を十分取

り入れ、市が基本計画を策定し、国が認定して支援措置を講ずる。範囲は城東、城西、中心商店街周辺、駅前地区を設定している。

質問 障害児者への支援は？

答弁 療育センターでは臨床心理士等七人が療養訓練・巡回相談等実施。保育所に保育士加配、私立保育園に補助金。公立幼稚園には教諭を増。保健師も連携。療育と学校は相談支援ファイルで情報を共有し連絡会を準備中。就業支援は、津山障害者就業・生活支援センター（三十六人就職）やハローワーク（百十一人就職）が連携。津山地域自立支援協議会に就労部会を置く。

城西の歴史と文化を、まちづくり、地域経済再生に活かす

日本共産党津山市議団 久永良一



質問 「つやま城西ほりおこし隊」への積極的対応を 城西のまちづくりの背骨となる町並み保存を関係者の合意を得て推進を 四十三年前に都市計画

決定された「津山中央線」は、町並みを壊し、莫大な税金（二百億円？）を投入するもの、計画を廃止すべきだ。議会では趣旨採択をしているだんじりの格納庫兼展示館の整備、観光駐車場の整備、田町の武家屋敷を観光に活かすよう、修理を早く行う。

答弁 「隊」の発足に敬意を申し上げ、まちづくりを協働で行う。地元関係者の町並み保存の気運が高まる必要がある。廃止という方向で考えている。町内会等が行う事業に、既存の補助制度が活用できるよう検討していきたい。研究していきたい。中期実施計画の中で検討する。